

「その声は」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう 1 文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「在り方」「見方・考え方」「意味」「なぜ大切なのか」「よさ」「態度・意欲」の観点で考えさせる
- つなぎ発問②**…主題発問で考えたことと、子どもの生活とをつなぐような話を入れる。そして、自分との関わりで、振り返りを行うことができるように、道徳的価値を入れた振り返りの観点を説明する
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりして振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

※振り返りの 4 観点は、次のようになっていますが、ABCD によって書く観点の数が異なります。

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※これに合わせて、低中高学年別、また ABCD 別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

※すべての観点について書かせるか、先生がいくつか指示をして書かせるか、または、子どもが選んだものを書かせるか、お決めください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

※内容項目「家族愛」の授業例です

主題	親子の絆を考えよう
導入	今日は、家族の絆とは何かについて考えましょう
展開前段	○父親の容態がよくないと知り、男性は、どんな思いで電車に乗っていたのでしょうか ○妻が「電話をした方がいい」というのを聞いて、男性は、どんなことを思ったのでしょうか ○「電話、かけた方がいいですよ」という乗客の声を聞いて、男性は、どんなことを思ったのでしょうか
つなぎ発問①	○男性が、父親に言う内容を聞いて、乗客たちは、どんなことを思ったのでしょうか ○もしも、父親が男性の声を聞いていて、どんなことを思ったらステキでしょうか
展開後段	親子の絆とは、何でしょう
つなぎ発問②	絆は、見えないものかもしれませんが、でも、確かにありますね ・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか① ・①のことで、もうすでに、分かっているよということはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか

	・①のことをもとに、家族みんなと一緒にやってみたいことはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、どんな親子になるとステキだと思いますか では、振り返りを書きましょう
振り返り	

※内容項目「思いやり」の授業例です

主題	幅の広い思いやりのある行いができるようになるう
導入	今日は、思いやりのある行いについて考えましょう
展開前段 つなぎ発問①	○夫婦の会話を聞いて、乗客たちは、どんなことを思ったでしょう ○男性が電話をかけて話したことに、誰も苦情を言わなかったのは、どうしてでしょう ○二人が駅で降りていくのを見て、乗客たちが、どんなことを思っていたらステキでしょう ○相手に対するいろいろな思いやりがありますが、このお話の乗客たちの思いやりは、どういう思いやりと言えるでしょう ○人から、思いやりのある行いを受けたり見たりしたことはありますか
展開後段	いつも、どんな思いや気持ちをもっていると、いろいろな思いやりのある行いができるのでしょうか
つなぎ発問②	相手への思いがあると、いろいろな思いやりのある行いとして表れるのですね ・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか① ・①のことで、もうすでに、やっているよということはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか では、振り返りを書きましょう
振り返り	